

〈2024年度トリジユク報告〉

教職員研修に、鳥劇新旧実践者がそろって参加し、学校教育への理解を深めた。アーティストも教員もそれぞれ〈専門性を生かして〉連携し、子どもたちの育ちをみとっていき、ということをも再認識し、年間の実施につなげた。

■2024年度の要点

- 1) 教職員研修の実施：鳥劇ミニWS（低中高各メニューを教職員が体験）／苅宿先生による講義／「省察活動」についてグループ討議。
- 2) 青谷高校担当講師を年間通じて固定化。
- 3) 青山学院大学社会情報学部との連携：「数理+表現」WS、9月のゼミ活動サポート。
- 4) 他校からのニーズ：中部地域の中学校や県立高校等でWS。RS活用やふりかえり動画送付。
- 5) 来年度に向けて学校とMTG：効果検証エピソード、実施回数の見直し、高学年実践の課題意識共有。



■2024年度実施内容

●鹿野学園 ・表巻科「表現ワークショップ」 ・算数数学科「数理WS」ほか。

■緑=鳥劇による演劇WS。■青学さんによる数理WS。■青学さんによるプログラミングWS、SDGsWS。

※単位は、1ユニット=4校時分

目標		学年	6/11 6月~	8/末~	~9/19	10/末~	~12月	鳥劇合計	2023年度		
								ユニット 校時数			
広がる 表現を開く	増幅+逸脱	9年 32人	6/3・4 思い出演劇		数理WS カードで証完	プログラミン グWS	大学生交流WS	1	4/75	3	
		8年 20人	6/17・1 8裏もたろう		数理WS 関数のきもち		11/25・26 カタルト情熱大陸	2	8/75	3	
		7年 23人	6/24・25 脳内会議by日影		数理WS 関数になって みる		11/28・29 風景をつくるby加米良 重	2	8/55	4	
		6年 33人	6/10・11 ちょっとだけ台本	7/1・2 オノマトベbyヤギ博士	数理WS はっけん! かくごいの鳥		11/19・20 表現(鳥劇)+数理WS	12/19・20 見立て	4	16/75	6
表現に慣	増幅	5年 18人	6/12・13 こわれた千の楽器	7/8・9 絵の中の〇〇さん	数理WS へんしん分数	SDGs+メ ディアWS	12/2・3 自分が監督自分が主役	3	12/70	5	
		4年 24人	6/4・5 詩の中の〇〇になってみる (1)	7/4・5 詩の中の〇〇になってみる (2)	数理WS つみきの背く らべ	プログラミン グWS	12/9・10 詩の中の〇〇になってみる (3)	3	12/75	6	
表現に 触れる	増幅+ 模倣	3年 25人	6/19・20 むかしばなしメンバー チェンジ				11/11・12 はかせの大発明	12/16・17 オノマトベ学園	3	12/75	3
		2年 27人	6/6・7 インタビューリレー	7/17・18 にんじゃ学校			11/13・14 ジェスチャーゲーム	12/12・13 にんじゃ学校2	ユニット にしない	8/20	8校時分
		1年 26人	6/6・7 おしえてリレー	7/17・18 にんじゃ学校			11/13・14 ジェスチャーゲーム	12/12・13 にんじゃ学校2	ユニット にしない	8/20	8校時分

88時数 136

●青谷高校「地域環境芸術」選択3年生14人。水曜日3・4校時（10:55~12:35）【全10回（20校時）】

1回「シアターゲーム！」(6/5)	6回「鳥の劇場現地学習」(11/6)
2回「シアターゲーム！ステータスゲーム！」(6/12)	7回「地域に必要なものかそうでないものを見つめてみよう その2」(11/13)
3回「自分のことを語る・相手と一緒に自分たちのことを語る」(6/19)	8回「地域に必要なものかそうでないものを見つめてみよう その2」(11/20)
4回「じゆう劇場上演+ワークショップ」(6/26)	9回「タナカさんを説得しよう-将来役に立つ教科は〇〇だ!-」(12/4)
5回「あのお話を舞台化!？」(7/10)	10回「表現WSで学んだことを活かそう!大人になった〇〇君」(12/11)

